



令和8年度 青梅市立霞台小学校 学校経営説明会

「幸せを創る学校」

校長 森田 彰

1 学校経営方針 「幸せを創る学校」

2 霞台小学校の教育目標と幸せの四つの因子

- 思いやりのある子……「ありがとう！」(つながりと感謝)
- 進んで学習する子……「やってみよう」(自己実現と成長)
- 健康で……「わたしらしく」(独立とマイペース・安心)
- ねばり強い子…「なんとかなる！」(前向きと楽観)

(「幸せの4つの因子」(慶應義塾大学大学院前野隆司教授)による)



3 子供の幸せのために・教職員の幸せのために・保護者地域の幸せのために

子供の幸せのために

- ① 安心して通うことができる環境がある
- ② 子供の思い・願いを大切にする
- ③ 一人一人がかけがえのない存在として認める (児童の呼称の統一)
- ④ いじめを見逃さず毅然と指導をする
- ⑤ 学習環境・生活環境が整っている
- ⑥ 学びの喜び・楽しみを見出す、価値ある指導を生み続ける

教職員の幸せのために

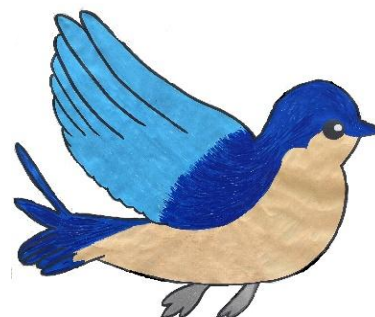
- ① 職務を果たす過程で成功感、成就感を味わうことができる
- ② 自分のよさ、自分の力を発揮できる
- ③ 組織の中で自分らしさを出すことができ認められる
- ④ 管理運営規定が順守されるとともにお互いを思いやるマナーがある
- ⑤ 心身ともに健康でワークライフバランスを大切にする
- ⑥ 全体の奉仕者である公務員として職務を遂行することができる

地域・保護者の幸せのために

- ① どの子ども平等に大切にされている
- ② 同じ姿勢・同じ目線で子供たちを育てている
- ③ 学習指導、安全指導が計画的継続的になされ、成長の姿を見ることができる
- ④ 地域・保護者が協働の教育活動を進めている
- ⑤ 郷土愛を育み、未来の青梅のために力を発揮する心情を育てている

4 目指す学校の実現のための基本方針

- (1) 「進んで学習する子ども（やってみよう）」を重点目標として主体的に学ぶ授業を創る。
- (2) 学習成果を高める授業規律・生活規律の確立をする。
- (3) 生活規律「あじみこし」の励行をする。
 - あ あいさつ 語先後礼
 - じ 時間を守る
 - み 身なり・身だしなみ
 - こ ことば遣い・こころ遣い
 - し 姿勢（身体の姿勢 心の姿勢）
- (4) いじめ・不登校の未然防止・早期対応のため組織的な取り組みをする。
- (5) 特別支援教育の充実（理解教育も含めて）を図る。
- (6) 図書教育の充実をする。（学校司書との連携）
- (7) 安心・安全な学校環境づくりを行う。
- (8) 「つながり」と「深まり」のある小中一貫・小小・幼保小連携教育を推進する。
- (9) 公立学校として、保護者や地域社会の信託に応える教育を実践する。
- (10) 積極的な情報公開と広報活動をする。
- (11) 関係諸機関・地域等と協働する教育活動を推進する。



教育は共育、と言われていています。どの子ども等しく「幸せ」な今、「幸せ」な未来を自分のものにしてほしい、と切に願います。「子供」を主語に、ともに「共育」する仲間として歩みましょう。